



平成 30 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 デジタルアーツ株式会社
代 表 者 氏 名 代表取締役社長 道具 登志夫
(コード番号: 2326 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役 管理部長 赤澤 栄信
(TEL 03-5220-6045)

2019年3月期 通期(連結)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年5月8日に公表いたしました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の業績について、下記の通り修正することと致しましたのでお知らせします。

記

1. 2019年3月期 連結業績予想の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	5,800	2,500	2,500	1,619	116.62
今回修正(B)	5,800	2,600	2,600	2,000	143.91
増減額(B-A)	—	100	100	381	
増減率(%)	—	4.0	4.0	23.5	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	5,116	1,902	1,909	1,281	92.46

2. 連結業績予想修正の理由

当社は創業以来主力事業としてきた「企業・組織内からの情報漏洩対策」に加え、標的型攻撃に代表される外部からの脅威に対するソリューションの提供を前連結会計年度より開始いたしました。総合セキュリティ対策ソリューション企業を目指し、まずは国内市場にて新しい発想、製品ラインナップの統合による、より高品質な製品展開を進めてまいりました。

従来当社は内部情報漏洩型のセキュリティ対策の領域では高い認知とシェアを獲得してまいりましたが、当社グループ、販売店一体となった販促活動を推進した結果、当社グループが提供する新しい世界観、ソリューションについての認知が高まり、国内においては総合セキュリティメーカーとしての存在感が高まっております。

この点、海外市場においては「FinalCode」に限定した展開をしてまいりましたが、今後は国内市場同様、総合的なソリューションを「DigitalArts」ブランドにて展開していく予定です。

これに伴い、北米子会社である FinalCode, Inc. は清算をし、北米市場は Digital Arts America, Inc. にて事業を継続してまいります。また、アジア太平洋地域については Digital Arts Asia Pacific Pte. Ltd. (FinalCode Asia Pacific Pte. Ltd. より商号変更予定)、欧州地域は Digital Arts Europe Ltd (FinalCode Europe Limited より商号変更予定) にて事業を展開してまいります。

以上のグループ再編に伴う経営資源の選択と集中効果により、連結業績に関して販売費及び一般管理費が縮小し、営業利益は 2,600 百万円、経常利益は 2,600 百万円となる見通しです。また、米国子会社清算に伴う税金費用の抑制効果により当期純利益は 2,000 百万円となる見通しです。

以 上